

## 子育てはつづけるもの

教育評論家の尾木ママこと尾木直樹さんをご存じですか？「子育てはつづけるもの」これは、尾木先生が某テレビ番組でおっしゃっていた言葉です。子育て真っ最中の皆さん、尾木先生の子育てエピソードから、我が家の子育てを見直してみましよう。

## 尾木家の娘たち 「いい子症候群」と「問題児」

○手がからなくいい子の長女  
おとなしくて、手もかからない、いわゆるお利口さんの長女。  
しかし、大人になってから「親の顔をうかがって良い子を演じていた」という衝撃の発言をしたそうです。

・「いい子症候群」とは  
「こうすると親が喜ぶから」と、常に親や先生の顔を伺って行動するようになる。特に長子に多い。「いい子症候群」になると、行動の原動力が「親が喜ぶかどうか」になってしま

まうため、自分が本当にやりたいことや素直な感情表現、意見を言うことなどができなくなる。「いい子」のまま成長すると、社会人になってから新型うつの原因になるといいう指摘もある。



## ○問題ばかり起こす次女

次女は、自由奔放でよく先生に呼び出されたそうです。(不良というわけではないようです。)

尾木ママの「消火器からは泡が出てくるんだよ」という説明に、火事でもないのに学校で消火器を使って確認。呼び出されて、慌てて飛んできた尾木ママに、次女は一言「粉が出てきたよ」。  
・下の子は上の子を見て育つ  
下の子は上の子のすることを見て育つので、小さいころ

から親の手を煩わすことがあまりなく日常生活のひとつと取り扱えることが嫌いで自由奔放だったり、自分から人の輪の中に積極的に入って行き、人づきあいがうまかったりする傾向がある。



教育評論家の尾木先生、さぞご自身の子育てもうまくいっているのかと思いきや、親の思い通りにはならないものです。

ご自身の体験から、「親は誰もやったことがないんですよ。子育てとはしくじるもの。失敗するに決まっている。しかし、手遅れはない。人間は死ぬまで成長発達、いつでもやり直しができます。」とおっしゃっています。

## 我が家の子育てを もう一度見直そう

とはいっても、できれば子

育てに失敗したくはありません。そこで自分の子育てをもう一度振り返ってみましよう。

○親の背中を見て育つ  
今の時代、核家族や共働きなど、さまざまな形の家族があります。どこか家庭も同じように子どもに手をかけてあげられるわけではありません。しかし、短い時間の中でも愛情をかけることはできます。親が苦労していることも、自分の為に頑張ってくれていることも、子どもは見えています。

○子どもを一人の人格として認めた振る舞いを  
反抗期を迎えると、子どもとどう接していいか迷うこともありますが、でもそれは子どもが大人になろうとしている証拠です。一人の人格として認め、対等に話を聞いたり、ほめたり、時には大人が謝ったりすることも大切です。

○孤育てにならないように  
たった一人で子育ての悩みを抱えていますか。同じ悩みを持つ人や子育て先輩世代の方との交流が、ヒントを与えてくれるかもしれません。

# もったいない ひろば MOTTAINAI 広場



「MOTTAINAI (もったいない) 広場」は、不用となった家庭用品などを必要とする人へ橋渡しをする事業です。

「うちでは使わないけど捨てるのはもったいない」という方から「〇〇を譲ってもらえると助かる」という方へ、皆さんの「もったいない」を有効に再活用しませんか。

## 1 取り扱う品目 (無料のものに限ります)

【対象となるもの】

日用品、家具、家電用品、楽器、スポーツ・レジャー用品、育児用品など

【対象とならないもの】

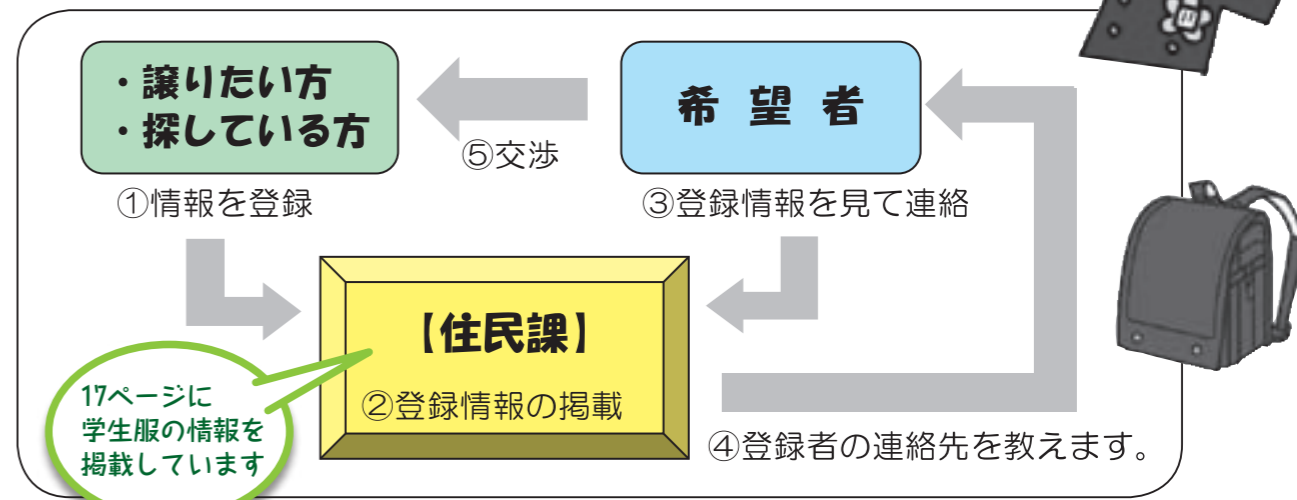
- ・法令などで交換、販売が禁止されているもの、あるいはこれに準じるもの (たばこ、酒類、医薬品、金券など)
- ・食料品、危険物、不動産、動物
- ・町が扱いを認められないと判断したもの



## 2 広場の利用対象者

本町に住所を有する18歳以上の方で、営利を目的としていない方

## 3 利用の手順



- ◎情報提供後は、希望者から登録者へ、直接連絡をして交渉、受け渡しを行います。
- ◎交渉、受け渡しは、希望者と登録者双方の責任において行います。破損などの事故の場合も同様です。町では一切責任を負いませんので、「思っていたものと違った」などのトラブルが起きないように、よく確かめて決定するようにお願いします。
- ◎成立、不成立に関わらず、希望者から住民課に交渉結果を報告していただきます。

問合せ 住民課 住民活動グループ ☎76-2130